

# 診断時から緩和ケアを 実現する看護の機能

小松浩子構成員提出資料

ケアを受けた患者

- ・気分は落込み、不安が強く自我は脅かされるが、医療者に理解されて現実に向きあうことができる
- ・治療と同時に緩和ケアの情報も得て、将来を考えることができる
- ・治療に専念する

- ・治療の限界にも現実的に向き合うことができる
- ・死について考え、看護師の援助を得て不安をマネジする
- ・症状緩和に早めに取り組み、QOL維持を努力する

- ・希望が尊重され療養場所の選択を現実的に行う
- ・症状緩和を積極的に行い最後までQOL維持に努める

## がん病変の治療



## 緩和ケア

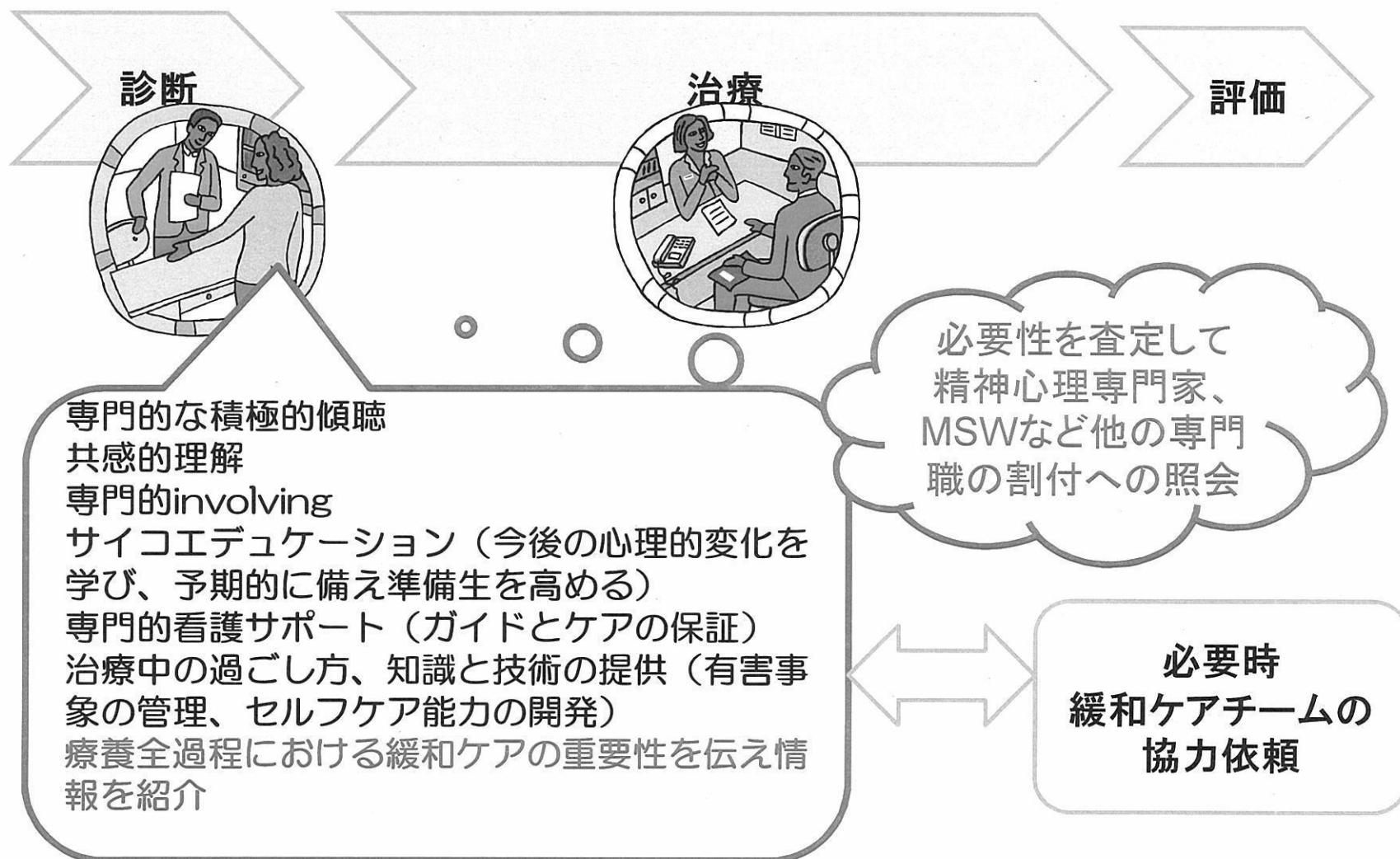
医師 検査 病名と治療を説明 選択肢を示す 治療、身体管理を行う

必要なケア

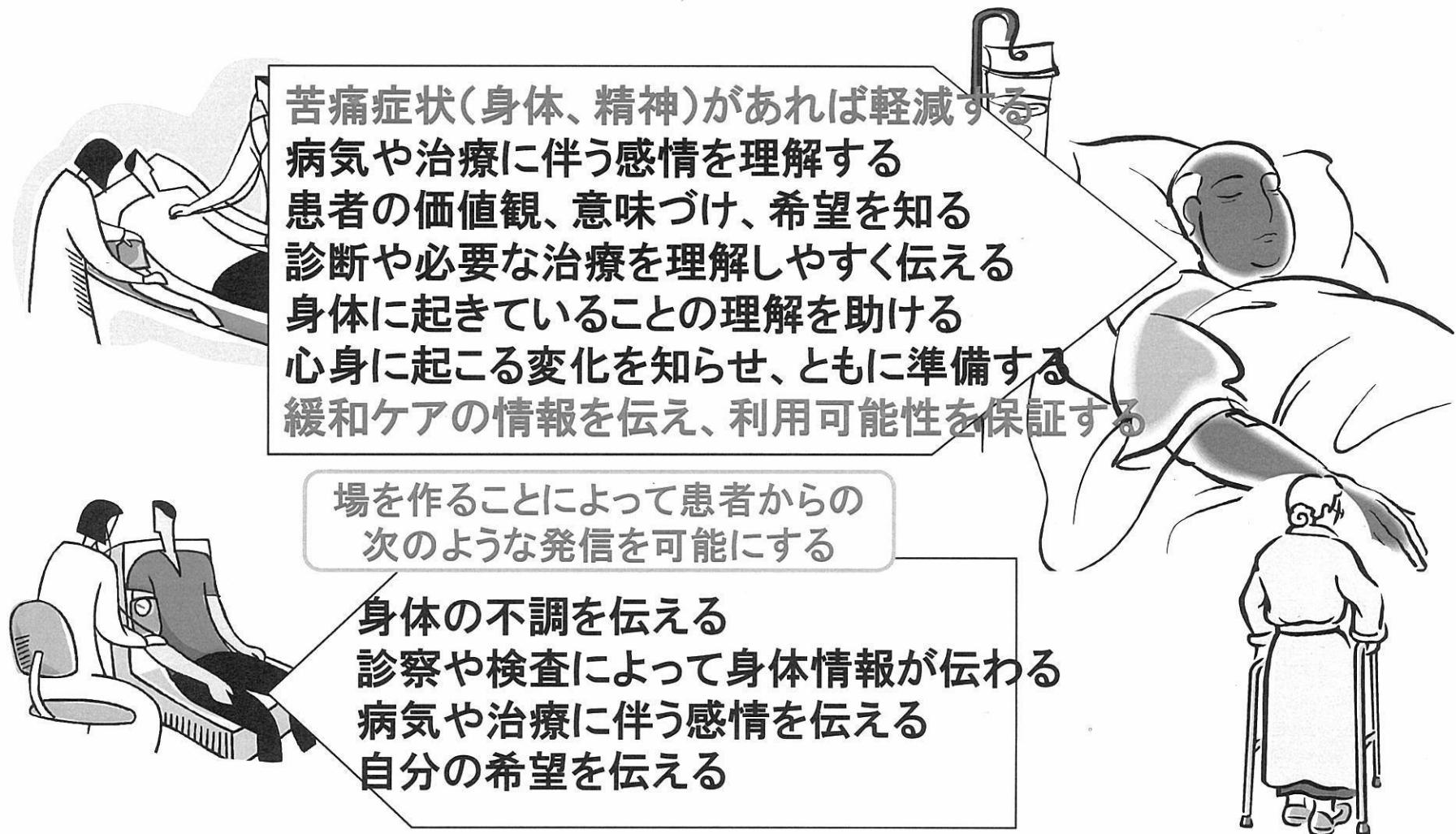
専門的な積極的傾聴  
共感的理解  
サイコエデュケーション  
療養法知識と技術の提供  
専門的看護サポート（ガイドとケアの保証）

時期を逃さない身体症状緩和の介入  
専門的な症状マネジメント  
療養生活の管理支援（栄養、排泄、清潔の維持、休息と活動、社会関係の維持、適切な経済支援）

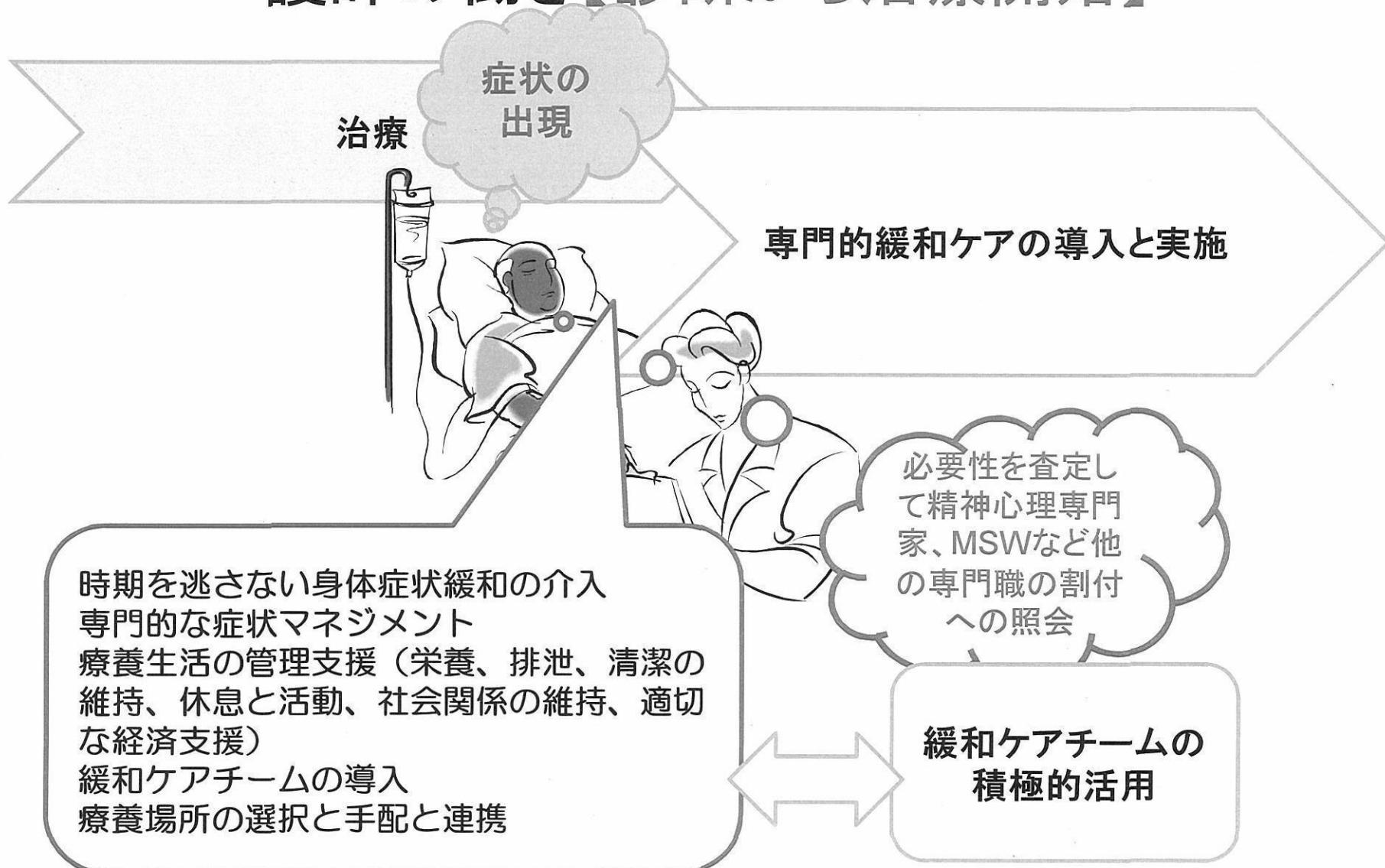
# 診断時から緩和ケアを導入するための看護師の働き【診断から治療開始】



# 診断時に重要な専門的看護介入

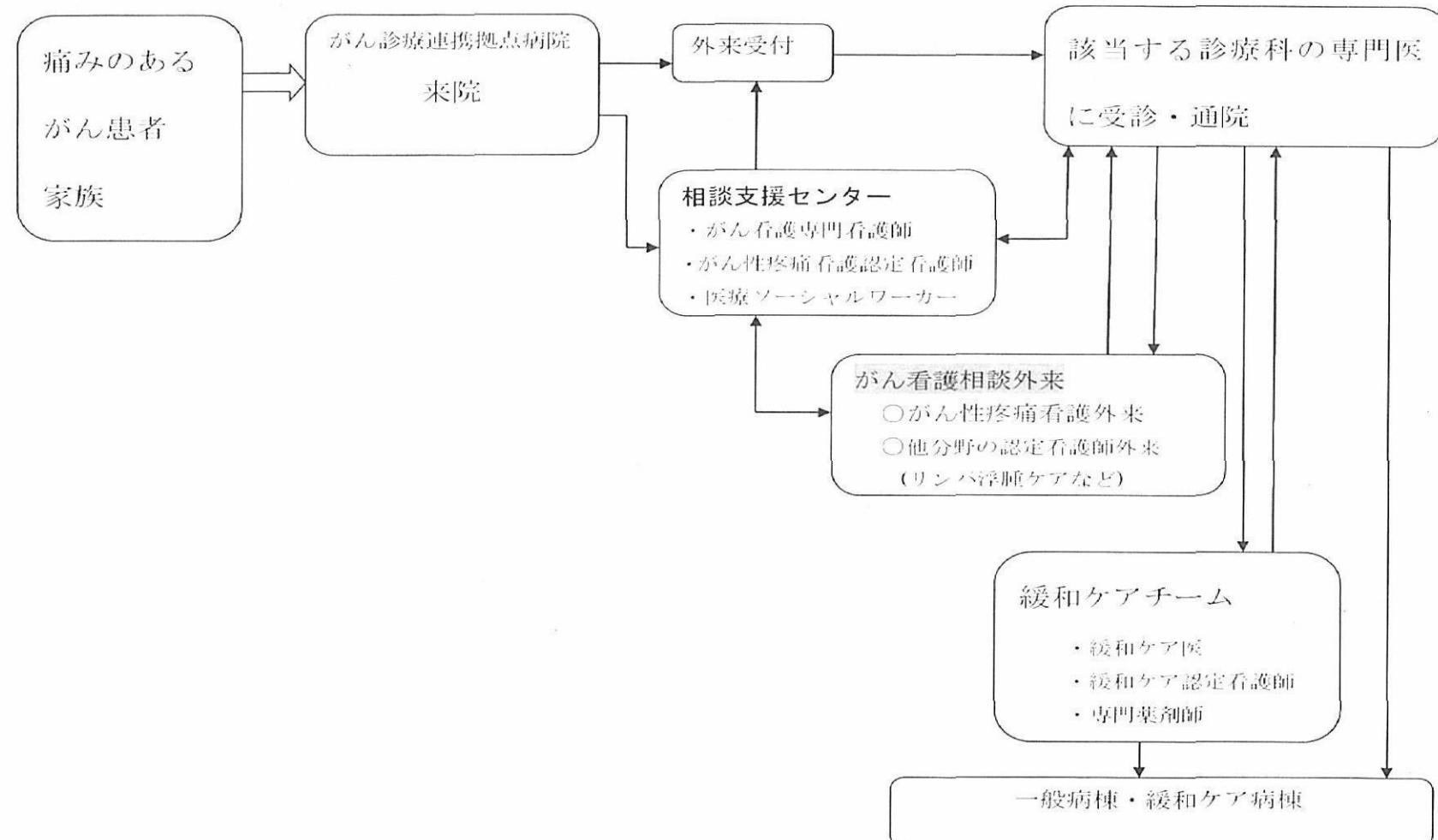


# 進行期に緩和ケアによってQOLを維持する看護師の働き【診断から治療開始】



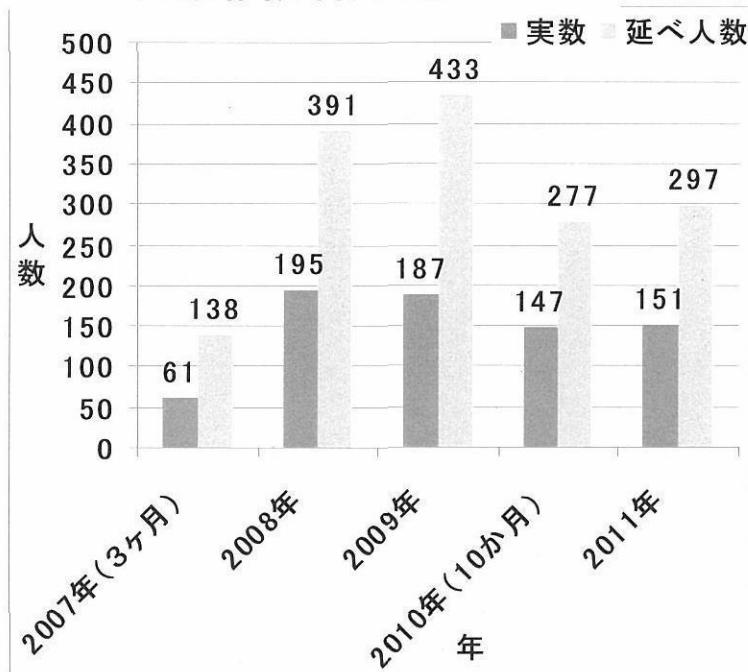
# 新しい看護体制の提案

神奈川県立病院機構 神奈川県立がんセンター 痛みのある患者がケアを受けるまでの流れ



## 神奈川県立がんセンターがん性疼痛看護外来実績(2007年～2011年)

### 外来相談利用状況



2010年を境に、利用数が減少しているが、いつでもどのような相談事でもできる医療相談支援室(相談支援センター)の利用者が増加している。

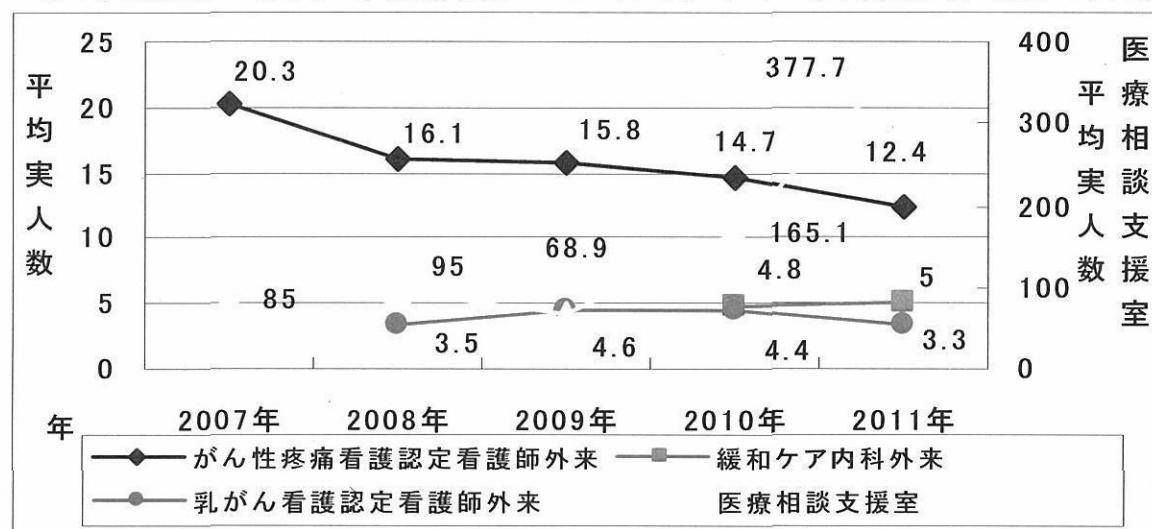
また緩和ケアチームも増加傾向にあり、利用数の減少にはこれらの関連がある。痛みのある患者が診察前・後にがん性疼痛看護外来を利用し、緩和ケアチームや診療科医師などと連携することにより、より適切な緩和ケアが受けられる。

### Aがん専門病院の外来での症状緩和に関する病院の動向

	~2006年10月	2008年	2009年	2010年	2011年～
がん性疼痛看護認定看護師 外来相談	2回/月	月～金 2時間～			
地域医療連携室	毎日	2008年4月～ 医療相談支援室へ名称変更・毎日			
緩和ケア内科外来					2010年6月～ 常時診療開始
乳がん看護認定看護師 外来相談		2008年4月～1回/月			
ストマ外来(要予約)	1回/週	2008年7月～2回/週	2009年7月～3回/週	2010年10月～ スキンケア外来 へ名称変更 4回/週	

2007年10月以前よりリンパ浮腫外来(要予約)4.5日/週、がん化学療法看護認定看護師外来相談・緩和ケア認定看護師外来相談・集中ケア認定看護師外来相談は1回/月で継続

### 症状緩和に関する相談窓口の1か月の平均利用実人数の比較



# 相談内容の分類

相談内容の分類(複数回答)	2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	件数	%								
身体的苦痛	128	60%	330	50%	389	57%	246	57%	275	59%
精神的苦痛	48	22%	168	26%	164	24%	99	23%	94	20%
社会的苦痛	12	6%	53	8%	46	7%	36	8%	38	8%
霊的苦痛	11	5%	59	9%	54	8%	30	7%	48	10%
その他	15	7%	46	7%	27	4%	17	4%	11	2%
相談内容の分類総数	214	100%	656	100%	680	100%	428	100%	466	100%

## 身体的苦痛に対する対応

身体的苦痛に対する対応内容(複数回答)	2007年		2008年		2009年		2010年		2011年	
	件数	%								
経過観察	107	27%		23%		26%		27%		26%
服薬指導(麻薬導入時以外)	73	18%		20%		18%		15%		16%
薬物療法の検討	73	18%		21%		20%		20%		19%
痛みの説明	55	14%		12%		16%		12%		15%
日常生活指導	35	9%	81	8%	79	7%	72	10%	59	8%
代替療法	13	3%		3%		2%		5%		4%
医療相談支援室へ連携	10	2%		1%		1%		1%		1%
麻薬導入時服薬指導	9	2%		3%		3%		2%		6%
他の診療科へ依頼	5	1%		1%		1%		1%		1%
他のCNへ依頼(リンパ浮腫外来含む)	4	1%		1%		1%		1%		1%
緩和ケアチームに依頼	2	0%		0%		0%		0%		1%
その他	17	4%		7%		3%		6%		2%
身体的苦痛に対する対応件数総数	403	100%	971	100%	1088	100%	709	100%	745	100%

相談内容は「精神的苦痛」20~26%、「社会的苦痛」6~8%、「霊的苦痛」5~10%、「その他」2~7%の相談が含まれていた。また、身体的苦痛の対応は、「経過観察」、薬物療法に関することや「痛みの説明」が上位を占めており、その中に「日常生活指導」が7~10%を占めていた。また相談の対応で他部門への連携は少数であった。